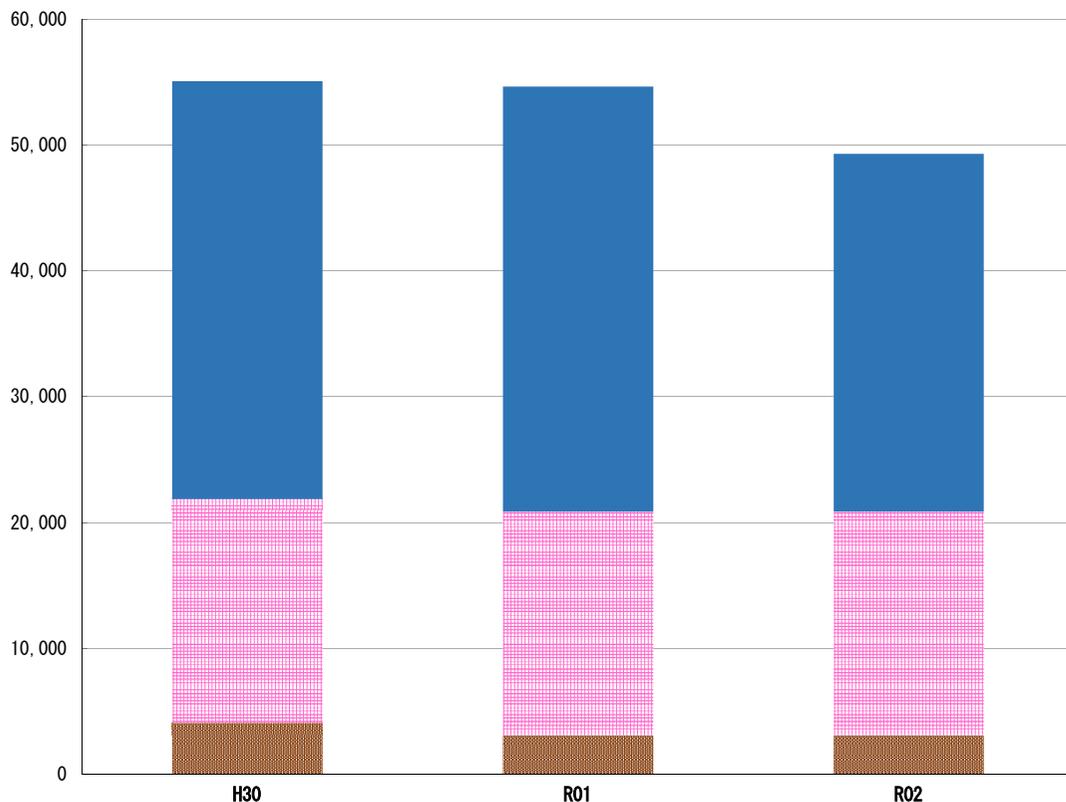


# (11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（都道府県）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H30	R01	R02
	財政調整基金	4,095	3,106	3,107
	減債基金	17,784	17,787	17,788
	其他特定目的基金	33,215	33,747	28,400
	産業開発基金	7,693	7,217	5,796
	福祉対策等基金	8,379	8,372	5,768
	地域医療介護総合確保基金	4,955	5,166	4,285
	後期高齢者医療財政安定化基金	2,351	2,351	2,351
	庁舎及び議会棟等整備基金	1,612	1,612	1,612
	基金残高合計	55,094	54,640	49,295

令和2年度

和歌山県

## 基金全体

（増減理由）

和歌山県立医科大学薬学部設置に伴う福祉対策等基金の取崩しや民間ロケット発射場建設支援のための産業開発基金の取崩し等により、基金残高は前年度に比べ53億円減少し、493億円となった。

（今後の方針）

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持していく。

その他、産業開発基金の企業立地奨励金等への充当や、地域医療介護総合確保基金の医療・介護施設の整備や医療・介護従事者の確保等への充当など、その他特定目的基金を有効に活用していく。

## 財政調整基金

（増減理由）

令和元年度は、収支不足の解消のため、10億円の取崩しを行った。

令和2年度は、新規積立てや収支不足に伴う取崩しを行っておらず、前年度と同規模を維持している。

（今後の方針）

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持していく。

## 減債基金

（増減理由）

近年、新規積立てや収支不足に伴う取崩しを行っておらず、同規模を維持している。

（今後の方針）

財政調整基金・県債管理基金（減債基金）は、毎年度の収支不足の解消のために取崩しを行いつつ、自然災害等不測の事態に備えるため残高を少なくとも150億円維持していく。

## 其他特定目的基金

（基金の用途）

- ・福祉対策等基金：福祉対策等の充実
- ・産業開発基金：企業の導入及び産業の近代化
- ・地域医療介護総合確保基金：医療介護総合確保法に基づく地域における医療・介護の総合的な確保
- ・後期高齢者医療財政安定化基金：高齢者医療確保法に基づく後期高齢者医療財政の安定化
- ・庁舎及び議会棟等整備基金：県庁舎及び議会棟等の整備

（増減理由）

- ・産業開発基金：小型ロケット射場建設支援への充当による減少
- ・福祉対策等基金：和歌山県立医科大学薬学部設置経費への充当による減少
- ・地域医療介護総合確保基金：医療介護総合確保法に基づく事業計画を踏まえた事業への充当による減少

（今後の方針）

- ・福祉対策等基金：県単独医療費助成に充当
- ・産業開発基金：誘致企業への立地奨励金等に充当
- ・地域医療介護総合確保基金：医療介護総合確保法に基づき、毎年度、事業計画を作成した上で、医療機関・介護施設の整備や医療・介護従事者の確保等に活用
- ・後期高齢者医療財政安定化基金：高齢者医療確保法に基づき、予期せぬ保険給付増や保険料未納により財源不足となった場合等において、和歌山県後期高齢者医療広域連合に対して資金貸し付け
- ・庁舎及び議会棟等整備基金：個別施設毎の長寿命化計画等を踏まえた上で、基金を充当する事業を選別